

## 「とくしまの青少年に関する意識調査」の概要について

### 1. 回答状況

青少年（12～22歳）：送付数3,200人 回答数2,805人（回答率90.5%）  
 成人（23歳以上）：送付数2,100人 回答数 951人（回答率45.3%）  
 合計：送付数5,300人 回答数3,756人（回答率70.9%）

### 2. 結果の概要

#### ●自分について

青少年の約4割が自分のことを「きらい」

- ・家庭や地域で愛情深く育てることや、自己肯定感を高める教育が必要
- ・インターネットの適切な利用に関する教育・啓発が必要

#### ●インターネット環境

青少年のほとんどがインターネットの安全利用に関心がある

#### ●格差社会の認識

青少年の約7割が「世の中は公平ではない」と感じている

- ・就学、就労等への支援が必要
- ・地域における支援者の養成と、アウトリーチの推進が必要

#### ●生きづらさ

ひきこもり状態を経験した人の約7割が「関係機関に相談したくない」

#### ●地域への愛着

青少年の約9割が今住んでいる地域を好きだが、青少年の約5割は「今住んでいる地域から移りたい」

- ・地域の魅力を学ぶ機会の提供が必要
- ・主体的な社会参加の機運醸成が必要

#### ●地域活動

青少年の約7割が地域活動に参加している一方、自ら企画することには消極的な青少年が約7割

### 3. 施策の方向性

青少年が心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性を身につけて成長するよう、社会全体で青少年を見守り育てる環境づくりを推進

#### 計画の【基本目標】

青少年の健やかな成長のための社会環境の整備

ニート、ひきこもり、不登校、児童虐待、貧困など青少年の抱える困難な状況にきめ細かく対応

困難を有する青少年やその家族への支援

「地方創生」「東京オリンピック・パラリンピック」など新たな時代の流れに対応でき、地域社会で活躍できる青少年を育成

未来を切り拓く青少年の応援